



# THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第 2770 地区 第 8 グループ 越谷北ロータリークラブ

2024-25 年度国際ロータリーテーマ 「ロータリーのマジック」 RI 会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック 2024-25 年度越谷北 RC 会長提言 「伝統を愛し、変化を楽しむ」 越谷北 RC 会長 江口 公晴

- 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
- TEL 048 (975) 9898
- FAX 048 (977) 3741
- 創立 1976 年 5 月 11 日

- 会長 江口 公晴
- 副会長 大島 直幸
- 幹事 伊藤 純
- 会報委員長 中澤 伸浩

## 第 2353 回 例会記録 No. 17

令和 6 年 12 月 4 日

司会: 佐藤 要 編集: 近藤 慎悟

## 会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「国家君が代」「奉仕の理想」
3. 四つのテスト
4. 結婚記念・誕生日祝い
5. お客様紹介  
米山記念奨学生 倪 楓萃 様
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. お客様挨拶
9. イニシエーションスピーチ  
岩瀬 良太 会員
10. 出席報告

## 【次回例会案内】

令和 6 年 12 月 20 日(金)

ファミリー同伴 クリスマス例会



場所: ヴィラ・デ・マリアージュ 越谷レイクタウン

## 会長挨拶



江口 公晴 会長

皆様こんにちは。12 月になりました。12 月は「師走」とも呼ばれますが、これは僧侶のように普段は落ち着いている人でも走り回るほど忙しくなる月である、ということが由来ともいわれております。会員の皆様方も公私ともども慌ただしくなってきたのではないのでしょうか。

大変残念なことに私の頼れる相棒の伊藤幹事はインフルエンザに罹患してしまいました。皆様方もくれぐれも体調にはお気を付けてください。

さて、今日の会長卓話はいつもと趣きを変えまして 11 月より施行になりましたフリーランス新法の概略をお話したいと思います。

まず「フリーランス」といいますと、デザイナー、イラストレーター、プログラマー、カメラマンといったフリーで活動しているクリエイティブな職業の方、というのが一般的なイメージですが、この法律で規定するフリーランスはその概念とはちょっと異なります。

大きなポイントがふたつありまして、まず 1 点目は、事



業者であって従業員を使用しないものであるということです。ですので、個人事業主であっても従業員を雇用している方はこの制度でのフリーランスにはなりません。逆に法人であっても代表者以外に役員や従業員がいないいわゆる一人社長の法人はフリーランスにあたりません。

そしてもうひとつ、消費者から直接発注されるケースだと、従業員がいないフリーランスであってもこの制度の対象にはなりません。例えば、フリーのカメラマンが知人の結婚式の写真撮影を頼まれるというケースだと対象外になります。

皆様が事業活動において発注する場合は2番目のポイントは関係ありません。ですので、発注側の事業者として最初にすべきことは、自社の取引の相手方が「フリーランス」にあたるのかどうかの確認です。一人親方に工事の下請けを出すケースや Web デザイナーにホームページ作成を委託するケースだと対象になる可能性が高いです。

フリーランスに仕事を発注する場合、単発での発注か継続的な発注かによって発注者に課せられる義務項目が変わってきますが、共通する大きな事項は次の4つです。

- ・ 書面等による取引条件の明示
- ・ 60日以内の支払期日の設定
- ・ 的確な募集要項
- ・ ハラスメント体制の整備

そして1ヶ月以上の継続的な業務委託の場合にはこれらに加えて次の7つの禁止行為が定められています。

- ・ 受領拒否
- ・ 報酬の減額
- ・ 返品
- ・ 買ったたき
- ・ 購入・利用強制
- ・ 不当な経済上の利益の提供要請
- ・ 不当な給付内容の変更・やり直し

このようにひとつひとつ挙げていくとなかなか厳しい規定のようにも感じますが、私たちロータリアンにとっては、ロータリーの目的、四つのテスト、ロータリアンの行動規

範に則って相手方に敬意を持って接すれば、これらの義務事項や禁止行為に抵触することはなく、自ずとこの新法に沿った運用になるのではないのでしょうか。

まずは取引先との関係性を改めて棚卸しすることをお勧めして、今日の卓話を終わらせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

## 幹事報告



新沼 徹 副幹事

(地区より)

- ・ 今月(12月)ロータリーレートは1ドル150円です。

(クラブより)

- ・ 本日例会終了後、第6回理事役員会を開催いたします。理事役員の皆様は、お残り頂きますようお願い致します。

## 表彰



ポール・ハリスフェロー	ベネファクター
(5回) 松井 昭夫 会員	江口 公晴 会長
(2回) 江口 公晴 会長	
(1回) 近藤 慎悟 会員	



**結婚記念・誕生日祝い**



(結婚記念)

小林 巧 会員 ・ 中澤 伸浩 会員  
近藤 慎悟 会員

(誕生日祝い)

鈴木 英男 会員 ・ 宮崎 敏博 会員  
小宮山 大介 会員 ・ 高橋 陽一 会員  
工藤 征彦 会員

**おめでとうございます!!**



近藤 慎悟 会員

結婚記念のお祝ありがとうございます。早いもので結婚して3年、革婚式というらしいです。諸先輩方の助言を頂きながら、上手くやっていければと思っています。



小宮山 大介 会員

**お客様挨拶**



米山記念奨学生 倪 楓萃 様

お疲れ様です。本日は遅れてしまい申し訳ないです。先週米山バス旅行でグリコの工場見学に行きました。そして、お昼は川原でバーベキューでした。風が強かったですが、天気が暖かくて寒くありませんでした。焼きそば美味しかったです。

最後に、再来週のクリスマス例会楽しみにしています。よろしくお祈りします。

**イニシエーションスピーチ**



岩渕 良太 会員

本日はイニシエーションスピーチという事でお時間を頂きました。



私、岩淵良太は「1984年4月27日」生まれの40歳独身です。現在は保険代理店の営業職をさせて頂いております。そんな私が本日、越谷北ロータリークラブに入会するにいたるまでの経緯、今後などをお話しさせて頂き、私自身を少しでも知っていただけたら幸いに思います。貴重なお時間を頂きますが、どうか温かいお気持ちでお茶を楽しみながらお聞きいただけますと幸いです。

#### ◆学生時代について

幼少期から中学まで、大それたことはなく、よく遊ぶ遊ぶことが好きな少年でした。3歳のころに、越谷駅にあったヤマハ音楽教室に自ら行きたいと通い始め、飽きてしまった私を、せめて何か身につくまでと通わせてくれた両親に感謝しておりますが、大変申し訳ないことに、両親の願いむなしく、今引けるのはかろうじて『エリーゼのために』のイントロ数秒です。子供のころに身につけたレベルまでは大人になっても戻れるという言葉信じて、いつか時間が出来た際に再開したいと考えています。

そして好きなスポーツは野球でした。朝が非常に弱かったため少年野球には入れず、中学では野球部に入りましたが、暇さえあれば友達と野球したり、一人でも練習していた記憶があります。

中学では野球部に入部しました。全員仲の良い友達であった事もあり、切磋琢磨するより和気あいあいと楽しみました。特段目立った成績を残せませんでした。中学時代の思い出は野球部の仲間との出来事が多く、仲間にも恵まれていたのだと振り返ります。

そして、部活が終わった15歳の私の興味が向かったのは、勉強…ではなく、音楽でした。

当時、夜更かしが常態化していましたがグレルわけではなく、誰かの家に行ってはゲームをしたり遊んでいたのですが、そんな中で、たまたま聞いていたラジオから流れてくる音楽に心を奪われてしまい、HIPHOPに出会います。それが今も好きな音楽であるレゲエにつながっていくのですが、当時の歌詞の言葉遊びが面白くて聞いておりました。

話は戻りますが、高校時代で野球部への入部は早々

に選択肢から消え、帰宅部を選択しようとしていた矢先に顧問の先生につかまり入部したのは、廃部寸前のラグビー部でした。

私のころ、埼玉県の北部はラグビーが盛んでしたが、東部地区は当時ラグビー人口が少なく、野球部引退後も食欲のままに食べまくった結果運動不足で太った私は目に留まったのだと思います。新入生の気分を良くするのがとても上手な先生で、私のように同級生が7人入りました。その後、上級生が辞めてしまうなどで、2年生の夏に部が解散となってしまったのですが、コンタクトスポーツの楽しさと危険度を学べたとても大切な時期でした。

ラグビーをしていて印象的だった出来事が2つあります。ひとつは、出血と失神では別に騒がれないこと。もう一つは、練習試合で人数が足りないと、顧問の先生が試合に出場することです。元日本代表だった先生が、高校生をなぎ倒して突き進む情け容赦ない姿に呆気にとられたことを覚えております。

そして、部が消滅したあと、周囲では大学受験を意識した動きがある中で、高校生の私のはまったものは勉強…ではなく、またしても音楽でした。

高校の修学旅行の行き際、羽田空港で偶然会ったのが、その数週間前からハマっていた日本人のレゲエアーティストの方々でした。余計に音楽が気になってしまい、修学旅行の思い出は一通り見学を済ませたと思いますが、ずっとタワレコでCDを漁ってどんどんのめり込みました。

その後、高校3年になり受験勉強を始めましたが、勉強の傍らに常に音楽と遊びのことがあり、結果として受験は失敗。浪人となりますが、目的がないのに大学に行く意味がないと調子に乗ったことを言い、バイトとクラブ活動をした結果、2浪。そして、2浪目の夏、やはりちゃんと受験をしよう一念発起してなんとか大学へ入学しました。ちなみに大学は奨学金を借りましたが、多くもらって余った奨学金とバイト代を加えて手取りが多少あったことが20歳の私を調子に乗せ、学業ではなく社会勉強を優先することになっていきます。

そして20歳の丁度今くらいの時期、父にガンが発覚



し、翌年4月に亡くなりました。戦前の生まれであった父はとても苦勞をし、仕事づくめの人生でしたが、私が大学に入り楽しそうに生きているのを見て嬉しそうにしていると聞きました。「やれる事はやりなさい」と言ってくれたことで、勇気をもらいました。

そして四十九日が過ぎ、母からも勧められ、憧れの地であったジャマイカへ渡航しました。約28時間の大冒険の末たどり着いたジャマイカでの最初の思い出は、音楽の歌詞にあるような愛と平和にあふれた出迎えではなく、見渡す限りの黒人による客引き、物乞いでした。この時は現地に先にいた日本人の知人によって様々なエリアに連れていかれたのですが、映像でしか見たことのないスラムでの人々との交流は、カルチャーショックの連続で刺激的過ぎた経験でした。その経験でますますレゲエに取りつかれてしまった私は、その後7回、特にあてもないジャマイカへ行くこととなり、ジャマイカ人の友人も出来たことで、貴重な体験を重ねていくことになります。

そして大学3年時にちょっとした音楽事務所へ入ることで大学生活は更に音楽へ偏っていきます。当時、それなりに名前があるレーベルだったので、これはモテモテだと思ったのですが、そんなことはなく、地道な下積み時代でした。酸いも甘いも大学時代の私の思い出のほとんどは、音楽とともにあり、多少のことではへこたれないメンタルはこの時に身についたと思っています。

そして、時代の流れとともに音楽業界が不況になるにつれ、音楽は好きだけど職業にはできないと気づきました。でも好きでたまらないので、ライフワークとして続けて就職をしようと。それに気づいたのは、大学4年。大学生の就活時期は大学3年です。慌てて学校の就職課にいった私に用意されていた案件はなく、自力で探した企業でなんとか最終面接にたどり着いたのが、某予備校の講師でした。

苦し紛れの就職で実感を持っていなかった私に、音楽事務所の社長から、最終面接の日と同じ日にある九州ツアーの同行依頼が入りました。社長の「絶対やめろ、予備校講師なんて絶対務まらない」と強烈に説得され、面接を辞退。今の今振り返ると、当時は無茶苦茶だなと

思いましたが、正解だったのかもしれませんが。その時は今でも印象に残る位盛り上げ、とても楽しい夜を過ごせた記憶があります。

そんなこんなで、無事に就職の機会を逃し、引き続き音楽とバイトに明け暮れていたのですが、このままいいのか、何がしたいのか、と考えておりました。

#### ◆社会人になって

父は工務店を経営していたのですが、私が高校1年の時に脳梗塞で倒れてしまい廃業を余儀なくされた際に、税理士の先生が助けてくれたこともありその後一家が離散とならずに済んだことがありました。

そのことから漠然と人の役に立てる仕事をしたいなど考え、就職活動をした矢先に見つけたのが、県内の税理士事務所でした。無資格で無勉強であったにもかかわらず、私を雇って下さりましたが、これは本当に私が世の中を甘く見ていたのだと、私の人生上で最上位クラスの反省をしております。簿記知識もない人間が半端な姿勢で出来るわけがなく、学生気分の抜けていない岩渕はすぐに自分の限界を悟り、簿記の勉強自体も進まなくなり、転職を考え始めます。そして同時期に発売された格安の会計ソフトの影響か、顧問先の解約が続き、会社で営業を強化しなければいけないとなりました。どうにか新規の顧客を獲得せねばと、足りない頭で考えたのですがどうにもできず、苦しい日々には耐えられず、給料よりお金になっていた音楽に頼り退職をしました。

その後、3か月ほど毎月20本ほどの営業をこなして、音楽で生計を立てることが出来たのですが、本格的にのめりこむと直面する気付きにより、やはり普通に働こうと決心。前職で何もできず、わかりも出来なかった「営業」というものをやってみようと。再就職した先が、某建設会社内の保険部でした。

ボーナスは年三回。9時～17時45分まで。残業は月に20時間以内。安定した上場企業内で社員相手の内部向け営業社員を募集という事でした。これが現在につながる仕事との出会いとなります。

内定後、保険の勉強をするのに「保険会社で研修生



制度というものがあるから、ちょっとの期間出向して勉強してきて!」と大手 T 社の契約社員として出向することとなり、そちらの正式採用も決まり、これで、仕事しながら音楽が続けられるぞと、まさに小躍りした瞬間に発生したのが「東日本大震災」でした。その当時は保険の仕事を始めた年なので携われたことはほぼありませんでしたが、生涯保険を始めた年は忘れることがないと思います。

さて、私が出向していた T 社の研修制度でしたが、採用後の面談で判明したことがいくつかあります。

- ① 期間が 1 年 2 か月であること。
- ② 固定給は 3 か月ごとに減っていくので、成績を残せないと入社半年後には手取り 15 万程になること。
- ③ 朝礼だけ出れば何をしても自由。ただし、3 か月ごとに設定された成績基準が達成できないとクビになること。

上司からは、「骨は拾ってやるから、安心して行ってきなさい」と言われたのですが、入社後すぐに安心できる状況ではないと思い知りました。しかし、「朝礼だけ出ればあとは何をしても良い」という、この一文のパワーは音楽を捨ててきていない私にはとても魅力的で、不安ながらもとてもワクワクした気持ちであったことを覚えています。もう一つ、出向元からの指令は「イニシャル」と呼ばれる自分の近親者に保険へ加入してもらうことは、勉強にならないから禁止されました。これを愚直に守ったことも今はよかったと振り返ります。

この研修生時代はこれまでの人生観を覆される日々でした。自信満々の年上の研修社員が毎月退職していくなか、営業先のない私が出来たことは、最低限の知識を身に着けながら、ひたすらにテレアポ、突撃を繰り返して、何とか無事に研修を卒業しました。

ここまで聞くと凄く厳しく大変な時期を過ごしたような話ですが、「朝礼だけ出ればあとは何しても良い」。この一文の意味をはき違え、成績を残せば良いのだと勘違いし、テレアポなどで基準をクリアした私にとっては、音楽に傾倒しても咎められない最高の日々でした。年間で 150 本ほどイベントへ出演したと思います。そして、研修終了直前にジャマイカへも渡航し、思い出満載、希望満

載で意気揚々と出向元へ戻った私が直面したものは、圧倒的な保険の知識不足でした。

保険は 1 年 2 年やってプロと言えるレベルまでたどり着けるのは本当に稀で、私のようなラッキーパンチの連続で研修期間を卒業できた人間は、まだまだ赤ちゃんのようなものでした。保険契約に付き物になる事故対応ですが、私の知識不足が露呈したのが事故対応の中でも色々絡み合う、第三者賠償事故に直面した際でした。この時に、自分の契約なのだから自分で解決しろと突き放された事で、改めて必死に勉強して、結果的に何とか解決できたことが成功体験となり、今も続いているのかと思います。その後、会社内の保険を扱うには知識と経験が足りないとの事で、再び外部営業をすることとなり、2 年間は上司の隣で毎日テレアポをしておりました。

ちなみにライフワークである音楽活動は、仕事で追い詰められればられるほど、ストレス解消の捌け口となり、平日週末問わず、声のかかったイベントは大体出演していたのですが、「クラブで夜遊びしてるから、仕事がダメなんだ」と言われたくないという謎の意地により、退職までの 8 年間、会社には一切明かすことはしませんでした。今思うと恥じることをしていた訳ではないので、伝えればよかったと少し後悔があります。上司とは最後まで分かり合えなかったのですが、きっと、私が何か隠していることを察していたのかなと思います。

話は戻りますが、なんとかそれなりの数字を持つようになった今から約 5 年前、保険の仕事を始めてすぐにお客様になって下さった先輩から飲み誘われたことでまた人生が動き始めます。先輩から、時間が経つごとに仕事がつまらなそうになっているね。と言われました。確かに二重生活でちょっと疲れてはいた時期でもあったのですが、「一回の人生なのだから、そんなつまらなそうに仕事するより今の会社を辞めてウチに入って保険部作って自由にやりなよ!」と、格好良いことを言って頂き、悩んだ末に松伏にて代理店を開設する決心をしました。

その同時期に、保険の営業職員によるお金関連の不祥事がニュースとして数件報じられ、そのことがきっかけで保険業法が 4 月に改正され、3 月末にぎりぎり





合った奇跡のようなものでした。しかし、同時期から保険会社で代理店を統合化する動きが始まりました。一人しかいない乗り合い代理店は当然統合対象で、スタートから2年目には私も統合対象となっていたそうです。その後粘りましたが、業法の改正による保険会社からの厳しい要求にこたえられるため、ほぼ不休で働けど、よくなる兆しが見えない状況に陥ります。

好きでたまらなかつた音楽への情熱は不思議なもので、仕事に傾倒しているうちに薄れていきました。学生時代に音楽を仕事にすることをあきらめてから、音楽はただ好きなだけの趣味になっていたことを独立して仕事に傾倒したことで、強く認識したのだと思います。

結果として、前職で代理店を続けていくには条件が悪すぎて改善できる見込みがないことから廃業となりました。ふがない結果だったのですが、代理店の開業から廃業までを経験し、自分一人でもやっていたける自信をつけさせて頂きとても感謝しております。

そして、現職のFEAに入社、改めて事業主となり、越谷北ロータリーへ入会するに至っていきます。前職時代のお話を上記に留めてしまうと、仕事ばかりしている印象に聞こえますが、沢山仕事に時間は費やしましたが、就業時間などの縛りは一切なく、やりたいように仕事をさせて頂き、熱意の割合が減っていった音楽へかけていた情熱はジャークチキンという料理へ代わり、キッチンカーを買ってしまい、当時の事務所で休日に勝手に店をやるなど、とても楽しい日々でもありました。

#### ◆目標について

先ほど、私は大好きだった音楽への情熱は薄れたと申し上げましたが、薄れたのは自分がやりたいという欲で、この数年で生まれた別の目標があります。

今私が持っている目標は、越谷で無料の音楽イベントを開くことです。私自身、数年前まで音楽をいかに続けながら生きていくかを考えて行動しておりました。今もちろん、音楽は私にとって欠かせないものです。しかし、一線を退いた今は、仕事を落ち着かせて現場に戻りたいという意欲より、色々な事を学び、沢山遊ばせて頂い

たジャマイカ発祥の文化に対して恩返しをしたいと考えようになりました。正直、レゲエやヒップホップは世間一般からは、良いイメージばかりでないことは承知しています。ですが、歌詞のメッセージや、そのメロディーが持つ力で変わっていった人も救われた人も多く見てきました。私自身がこれらの音楽にのめり込んでいった理由でもあります。自分が持っている後悔もあるからこそ、特に若い人の役に立つことがあるのではないかと考えております。

先日の越谷市民祭りにて、先輩方がスライダーで一生懸命子供たちを楽しませている姿を見て率直に感動しました。本当にうれしそうにしている子供たちがとても印象に残っています。あの光景を見て、私も今持っている目標は実現したいと意思が固まりました。そして、現役の世代にそのイベントを引き継いでもらい、越谷の名物行事の一つにすることを夢として、前向きに生きている最中で御座います。

あわよくば、結婚して子供も欲しいなども考えていますが、めちゃくちゃな生活をしてきた結果完全に婚期を逃してしまったので、これは運に任せるしかないなと思っています。

という事で、最後になりますが、越谷北ロータリークラブに入会し、例会などで皆様と時間を共有させて頂き、仲間であると言っただけの有難さと心強さを感じております。

メンバーになるきっかけは昨年8月の交流会だったのですが、凄く良い印象が残っています。そのきっかけを与えてくださった、大塚会員。入会をためらっていた私を勇気づけて下さり、入会の決断をさせてくれた渡辺会員。そして奈良部会員からのアドバイスも頂いたおかげで、今皆様と同じ空間に居させて頂くに至りました。入会してよかったと思っています。改めて感謝いたします。

#### ◆越谷北ロータリークラブの皆様へ

ロータリークラブの先輩方は私から見ると本当に魅力に溢れた立派な方ばかりです。そんな皆様と同じ会の一員にさせて頂いておりますが、それに奢ることなく、生き



ていきたいと思っております。私は 40 歳を迎えてなお成長途中です。至らない点が多いことも自覚しております。ですので、時に間違った行動をしたときや調子に乗っている時、逆に乗っていない時は是非、ご指導ください。ただ、最後をお願いですが、ご指導の際はくれぐれもやさしめをお願いします。このお願いをもって、インシエーションスピーチを終わらせて頂きます。

有難うございました。

・結婚祝ありがとうございます。

中澤 伸浩

・結婚祝ありがとうございます。

小林 巧

・新会員研修会ご苦勞様でした。

青木 清

・鈴木会員、本日は新人研修講師ありがとうございました。

長谷川 真也

・基礎研修を開催頂きありがとうございました。

藤田 学

・本日宜しく申し上げます。

松井 昭夫

・本日例会宜しく願いたいします。

中村 隆雄

・本日も宜しく願ひ致します。

佐藤 要

・今日も宜しく願ひします。

加地 昭俊

・今年も残り少なくなりました。年末身体に気を付けましょ  
う!!

太田 靖彦

・世界平和のために。

渡辺 裕介

・世界平和の為に。本日早退します。すいません。

大濱 裕広

## スマイル報告

・岩渕会員、インシエーションスピーチよろしく願ひいたします。楽しみにしております。

江口 公晴

・インシエーションスピーチ楽しみにしています。

関森 初義

・岩渕さん、卓話がんばって下さい!! よろしく願ひします。

大濱 裕広

・本日インシエーションスピーチ楽しみにしております。

関 雄二郎

・岩渕さん、卓話楽しみです。

須賀 篤史

・岩渕会員、インシエーションスピーチ楽しみにしています。

大塚 具視

・岩渕さん、インシエーションスピーチ楽しみにしています。

大熊 正行

・インシエーションスピーチ宜しく願ひします。

岩渕 良太

・誕生日祝い有難うございます。

鈴木 英男

・誕生日ありがとうございます。60 歳まであと 2 年です。

小宮山 大介

・結婚記念のお祝いありがとうございます。

近藤 慎悟

### 出席報告

会員数	47 名
出席者	42 名
出席率	91.3 %

